

〈研究主題〉

すすんで考え、学び合い、思考を深める児童の育成
～国語科における話す・聞く活動を中心として～

第1学年 国語科学習指導案

1 単元名

単元名「おはなしを たのしもう」(光村図書 1年上)【読む】

学習材「ねこのピート だいすきなしろいくつ」

作/エリック・リトウィン 絵/ジェームス・ディーン

訳/大友 剛 文字画/長谷川 善史 ひさかたチャイルド 2013

「ねこのピート」シリーズ 「だいすきなよっつのボタン」「はじめてのがっこう」

「だいすきなおやすみえほん」「クリスマスをとどけよう」

2 単元の目標と評価規準

(1)

◎登場人物の行動を中心に想像を広げながら読むことができる。

○文章の内容と自分の経験を結び付け、自分の思いや考えを發表することができる。

・片仮名の語を正しく読み、書くことができる。

(2) 評価規準

| 国語への関心・意欲・態度 | 話す・聞く能力 | 書く能力 | 読む能力 | 言語についての知識・理解・技能 |
|---|---------|------|---|--|
| ①物語を楽しみ、好きなところを話したり、想像したことを基に工夫して読もうとしたりしている。 | | | ①好きな場面を選び、登場人物やその行動を捉えて想像を広げながら読んでいる。 ②物語の内容と関連する体験を思い出して自分の思いや考えを話している。 | ①言葉によって経験が伝えられていることに気付いている。 ②片仮名を正しく読み、書いている。 |

3 単元について

(1) 児童の実態

①アンケートによる実態

学級で、国語に関するアンケートを行った。

〈アンケート結果〉

(31名/31名中 実施)

| | | はい | どちらか という はい | どちらか という いいえ | いいえ |
|----|---|----|-------------------|--------------------|-----|
| 1 | こくごのがくしゅうは、好きですか？ | 22 | 2 | 4 | 3 |
| 2 | はんのともだちに、じぶんのはなしをすることは、好きですか？ | 16 | 2 | 5 | 8 |
| 3 | みんなのまえで、はっぴょうすることは好きですか？ | 13 | 2 | 4 | 12 |
| 4 | ともだちと、はなしあいながらがくしゅうすることは、好きですか？ | 16 | 3 | 6 | 6 |
| 5 | きいている人がわかりやすいように、はなしていますか？ | 18 | 6 | 5 | 2 |
| 6 | はなしている人を見て、うなずきながらきいていますか？ | 19 | 4 | 3 | 5 |
| 7 | はなしている人が、なにをいいたいかをかんがえて、きいていますか？ | 25 | 3 | 2 | 1 |
| 8 | ほんをよむのは好きですか？ | 19 | 7 | 2 | 6 |
| 9 | がっこうとしょかんにはいきますか。 | 18 | 7 | 3 | 3 |
| 10 | よみかせをきくのは好きですか。 | 28 | 3 | 0 | 0 |
| 11 | よんだほんのよかったところやおもしろかったところをともだちにつたえたいとおもいますか。 | 10 | 7 | 3 | 11 |

4月に入学してから7か月間で話す・聞く活動、読む活動、言語を理解する活動などに触れてきたが、2/3の児童が国語に前向きに抵抗なく取り組んでいるようである。3、4、5、11の項目にある「話す」に関連する項目については「いいえ」寄りの回答が目立つ。学習経験が浅く、自分の経験を想起したりや知っている言語を使ったりして考えを伝えることに不慣れなことが原因ではないかと考える。「7 はなしているひとが、なにをいいたいかをかんがえて、きいていますか？」については「はい」寄りの回答が大部分であり、友達のかえに興味をもって聞いていることが分かる。

本学級では、週1時間の図書、週数回の担任による読み聞かせ、月に1回の図書ボランティア「ポケットの会」による読み聞かせを行ってきたことにより本に親しむ姿勢が身に付いた。どの児童も興味をもって読み聞かせを聞き、楽しみにしている。反応もよく読書を楽しもうという雰囲気であふれている。学校図書館にも休み時間のたびに通う児童も多く読書を好む児童が多い学級である。

今回の学習を通して、本をただ読むのだけではなく音楽に合わせて歌ったり話の続きを考えたりして想像を膨らませて、自分の考えたことを相手に伝えたり、相手の伝えたいことを聞いたりして対話することで興味をもって伝え合いをさせたい。

②日常の実態

「話すこと」

入学当初は自分のことを伝える経験をもたせるために、朝の健康観察で呼名されたら返事とともに与えられた題に沿った自己紹介をするという活動を行った。また、国語科「たからものをおしえよう」の学習では自分の宝物をグループに発表し質問や感想に答える活動を行った。

今学期に入り、クラスの友達に向けて自由研究発表会を行い、全体場で発表するという経験もしてきた。

また、1学期から行ってきた活動として帰りの会においてクラスで頑張ってきた児童を名前とともに、その理由を伝えるという活動も行っている。

日常の発表活動について積極的に取り組んでいくことが、一部の児童に固定化されないよう日々声かけをしていくようにしていく。

「聞くこと」

友達の発言や発表について、質問や聞き返しをする児童が多いことから友達の言いたいことを考えながら真剣に聞いている児童が多いことがわかる。最近では自分には思いつかなかったことや、新しいことなどを聞いたときに自然に拍手を送る児童も増えてきた。このような反応を示すことができることから、反応を示す行動としてうなずきながら聞く習慣を身に付けさせていく。

(2) 単元設定の理由

本単元では、学習指導要領の指導事項「ウ 場面の様子について、登場人物の行動を中心に想像を広げながら読むこと」「オ 文章の内容と自分の経験とを結び付けて、自分の思いや考えをまとめ、発表し合うこと」を基軸に、楽しんで読書をしようとする態度を育てていく。単元教材「ゆうやけ」の学習後には単元目標にもあるように、登場人物の行動を中心に想像を広げながら読むことができる教材として「ねこのピート」は、読むだけではなく歌って楽しむことができる読み手参加型の絵本であり、これまでとは違った読書の楽しみを感じることができると考える。また、お話を考える活動を通して、自分の考えをまとめて発表し合うという経験をし、今後の伝え合い活動につなげていけると考えた。

(3) 教材の分析

青い体にお気に入りの白い靴を履いたねこのピートが表紙に大きく描かれており、児童の目がひきつけられる絵本である。話はお気に入りの白い靴を履いて出かけるところから始まり、様々なものを踏み、靴の色が次々と変化していく様子がおもしろい。繰り返しの表現など、絵本の本来もっているおもしろさをじっくりと感じ取らせ、楽しんで読ませることができる。また、本書はアメリカ合衆国で歌を歌いながら楽しむとして人気を呼んだ絵本であるため、巻末に楽譜が掲載されている。同じ曲調が繰り返され、リズムもよく歌いやすい歌である。音楽に合わせて歌う活動を取り入れることにより、本を読むだけではなく歌って楽しむこともできるという体験をさせ、児童にとって新たな本の楽しみ方の発見につながればよいと考える。

4 目指す児童像に迫るための手立て

【低学年分科会の目指す児童像】
話題に沿って、すすんで話したり、聞いたりできる子

_____（下線部）は「話す・聞く」の手立て

(1) 話し合いの形態の工夫

伝え合いをするためには、相手の話に興味をもって聞くことが大切である。そのために、絵本のセリフを引用した話型を活用し、クイズ形式で対話をする。どの児童も自信をもって話し、聞き手もクイズに答えるような気持ちで楽しみながら伝え合いができると考えた。

(2) 話す・聞く能力の基礎基本の育成

<聞き方>

- ・相手の方を向いて、よい姿勢で話を聞く。
- ・笑顔でうなずきながら話を聞く。
- ・最後まで興味をもって聞く。

<話し方>

- ・声のものさしを意識して、場に合った声の大きさと話す。
- ・相手を見て、最後まで自分の意見を話す。

(3) 学習シート（ICT機器—タブレット）の工夫

お話を考えるには、絵本に親しみ内容を理解していることが必要である。「ねこのピート」の雰囲気を感じ取りながらお話を考えることができるように、絵本の絵を使った学習シート（タブレットにSKYMENUで配布）を作成した。自分の考えたお話を言葉や絵で表すことを楽しみながら活動でき、伝え合いのツールとして活用することを考えた。

5 単元の指導計画（全9時間）

| 次 | 時間 | 各時間の目標 | 主な学習活動 | ●指導上の留意点 ◇評価（評価方法） |
|---|-------------|---|---|--|
| 1 | 1 | <ul style="list-style-type: none"> 自分の経験と既習の学習を思い出し、物語を読む学習を楽しもうとすることができる。 | <ul style="list-style-type: none"> 既習の物語で学習したことを想起し、できるようになりたいことを話す。 友達と夕方まで遊んだ経験を出し合ってから「ゆうやけ」を音読する。 学習課題を確認する。 | <ul style="list-style-type: none"> ●これまでの学習を想起させ、これからの学習に主体的に関われるようにする。 ●経験と照らして考えることで、登場人物の心情を身近に感じられるようにする。 ◇自分の経験と既習学習を思い出し、本単元で学びたいことを見付けようとしている。（観察・発言） |
| 2 | 2 3 | <ul style="list-style-type: none"> 「題名」と「作者」の語を理解し、登場人物やその行動を中心に、内容の大体を捉えることができる。 片仮名を正しく読み、書くことができる。 | <ul style="list-style-type: none"> 題名と作者、新出片仮名を確認し、内容の大体を確かめて簡単な感想を書く。 第一場面について、思ったことや気付いたことを出し合い、きつねの子の行動を確かめる。 | <ul style="list-style-type: none"> ●学習用語と片仮名、物語の場面設定について丁寧に扱う。 ●きつねの子の新しいズボンに対する思いを、自分の経験と結び付けて共感的に理解させる。 ◇「題名」「作者」という言葉を理解している。（ノート） ◇登場人物やその行動を捉え、自分の思いや考えをもち、発表している。（ノート・発表） ◇片仮名の語を正しく読み、書いている。（ノート） |
| | 4 5 6 | <ul style="list-style-type: none"> 登場人物の行動を中心に、自分の経験と結び付けて想像を広げながら読むことができる。 文章の好きなところを選び、そのわけを話すことができる。 | <ul style="list-style-type: none"> 第二場面について、思ったことや気付いたことを出し合い、登場人物の思いや行動を確かめる。 第三場面について、場面の様子を捉え、登場人物の行動から想像を広げて読む。 第四場面を想像を広げて読んだ後、好きな場面を選び、そのわけを考える。 | <ul style="list-style-type: none"> ●理解に差が出てきてしまうのを防ぐため、児童が見慣れないと思われる語を確実におさえて読んでいく。 ●隣の席どうして話したり、動作化を取り入れたりして具体的に考えさせる。 ●選んだ理由などを自分の言葉で表現する機会を積極的に取り入れるようにする。 ◇誰が何をしたか、自分の経験と結び付けて想像しながら理解している。（発言・ノート） ◇好きな場面と、そのわけを考えている。（発言） |

| | | | | |
|---|-------------|--|---|---|
| 3 | 7 ・ 8 | <ul style="list-style-type: none"> 好きな場面について、登場人物の行動を想像しながら音読することができる。 自分の経験と重ね合わせて読み、感想を話すことができる。 | <ul style="list-style-type: none"> 登場人物になりきって、音読したり動作化したりする方法を考え、自分の好きな場面の練習をする。 | <ul style="list-style-type: none"> ●友達どうしてお互いに認め合ったり工夫を伝え合ったりすることで、音読発表に生かすようにする。 ●何を学んだかの振り返りをし、学習をまとめる。 ◇好きな場面を選び、登場人物の行動を想像しながら、声に出したり動作化したりしている。(発表) ◇自分の経験と登場人物を結び付けて読み、考えをまとめて伝え合っている。(発表・観察) ◇言葉で経験が伝えられることに気付いている。(ノート・発言) |
| 4 | 9 (本時) | <ul style="list-style-type: none"> 絵本「ねこのピート だいすきなしろいくつ」を読んだり歌ったりして楽しむことができる。 読み聞かせを聞いて、自分で「ねこのピート」のお話を作ることができる。 | <ul style="list-style-type: none"> 「ねこのピート だいすきなしろいくつ」の絵本を読む。 「ねこのピート だいすきなしろいくつ」の絵本の続きを創作する。 「ねこのピート」のシリーズ作品の紹介をする。 | <ul style="list-style-type: none"> ●児童が内容を振り返ることができるよう、1人1台タブレットを使用してワークシートを活用する。 ◇呼びかけに答えたり歌ったりして、絵本を楽しもうとしている。(観察・発言) ◇自分で「ねこのピート」のお話を考えることができる。(学習シート) |

6 本時の指導（9／9）

(1) 本時の目標

- ・絵本「ねこのピート だいすきなしろいくつ」を読んだり歌ったりして楽しむことができる。
- ・読み聞かせを聞いて、自分で「ねこのピート」のお話を作ることができる。

(2) 展開

| 過程 | 主な学習活動 | ●指導上の留意点☆ICT活用 | ◇評価（評価方法） |
|---|--|---|--|
| 導入 | <ul style="list-style-type: none"> ・自分の大好きなものを発表する。 ・本時の学習課題を知る。 | <ul style="list-style-type: none"> ●ねこのピートに興味をもつことができるよう、大好きなものについて、数名の児童に発表させる。 | |
| <p>めあて 「ねこのピート だいすきなしろいくつ」をたのしくよもう。</p> | | | |
| 展開 | <ul style="list-style-type: none"> ・「ねこのピート だいすきなしろいくつ」の読み聞かせを聞きながら、歌う。 ・ピートのくつの色がどのように変わっていったのか話を振り返る。 ・絵本に登場したものや色を振り返り「ねこのピート」のお話を考えてタブレットのワークシートに記入する。 ・二人組になり「ねこのピート」のお話を伝え合い、友達が考えたお話のよかったところを言う。 ・全体で発表する。 | <ul style="list-style-type: none"> ●児童が絵本の内容をしっかりと理解できるよう、読み聞かせはゆっくりと語調に気を付けて行う。 ●興味をもってお話の世界に入り込めるよう、ピアノの伴奏で雰囲気盛り上げる。 ☆児童が内容を振り返ることができるよう画像化したページを映し出す。 ☆踏んだものと色が変わった靴の2点の絵を対応させて、話の流れを確かめる。SKY MENU発表ノートを使用する。 ☆始めに教師がワークシートの書き方の見本を提示する。 ●興味をもって友達の考えを聞くことができるように、クイズ形式で伝え合う。 ●☆伝え合いのモデルを示し、全員が自分の考えを伝えられるようにする。 ●自分の作品を発表するだけでなく、友達の作品のよいところも発表するように声掛けをする。 ●話型に沿った伝え合いの方法で発表する。 | <ul style="list-style-type: none"> ◇呼びかけに答えたり歌ったりして、絵本を楽しもうとしている。【関】（観察・発言） ◇自分で「ねこのピート」のお話を考えることができる。【読む】（ワークシート） |
| まとめ | <ul style="list-style-type: none"> ・「ねこのピート」シリーズ作品の紹介を聞く。 ・本時のまとめをする。 | <ul style="list-style-type: none"> ●読書への意欲を喚起する。 ●自己評価をすることで自身の学習への取り組み方について価値付ける。 | |